

香港株式市場フラッシュ

アリババ集団とシャオミの 2025 年 4-6 月期決算について

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

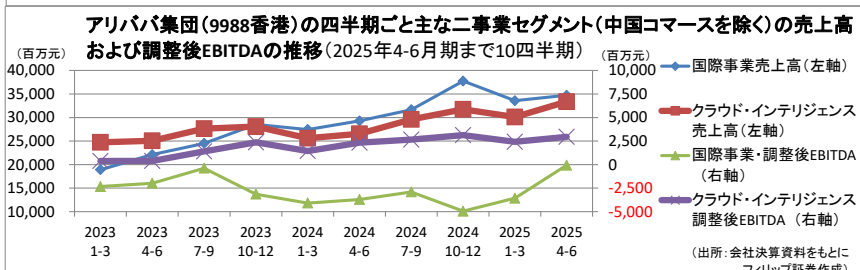
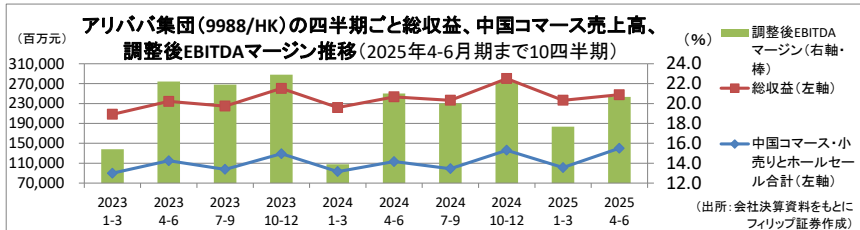
フィリップ証券株式会社

2025 年 9 月 3 日号(8月20日作成)

”アリババ集団のクラウド・インテリジェンス事業と国際事業“

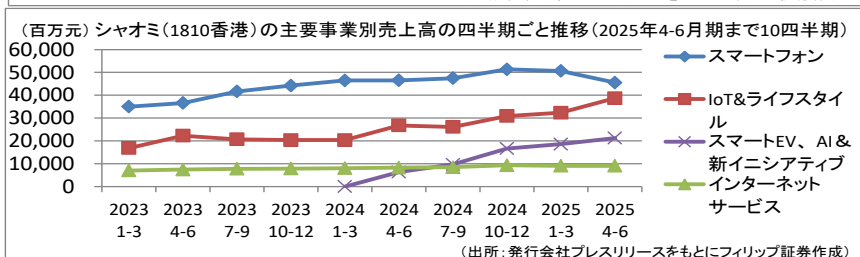
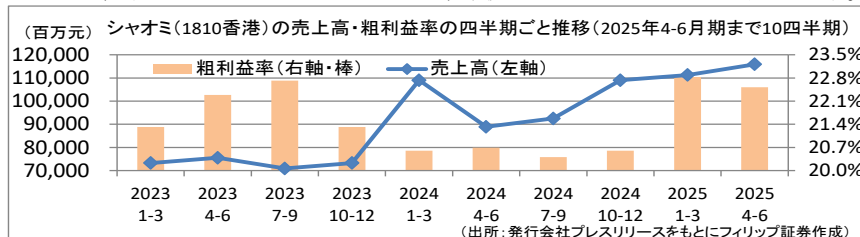
中国ネット通販最大手**アリババ集団(9988 香港)**は AI(人工知能)向けの新型半導体を開発したとの報道を受けて株価が上昇している。同社が 8/29 に発表した 2025 年 4-6 月期決算でも、クラウド関連事業は前年同期比 26%増収、調整後 EBITDA で 26%増の 29 億円だった。同社は生成 AI の基盤モデル「通義千問(Qwen)」シリーズについて技術情報を公開する「オープンソース」形式で提供している。オープンソースでは利益に直結しにくいとみられるほか、同社の 4-6 月期の設備投資額は前年同期比 3 倍強と足元では減価償却費の増加が利益面で重しとなる懸念される面もある。その一方、生成 AI と AI 半導体を組み合わせた事業モデルが軌道に乗れば、利益増加ペースの加速が見込まれる。

また、同社の海外通販事業について、増収効果によってようやく四半期での調整後 EBITDA の赤字解消が近づいてきた点も注目される。



”シャオミは IoT 家電と新規参入の EV 事業で進撃モード“

中国スマホ大手の**小米[シャオミ](1810 香港)**が 8/19 に発表した 2025 年 4-6 月期決算は、売上構成比 4 割を占めるスマートフォン事業は平均単価の下落が響き前年同期比 2%減収だった一方、中国政府による消費財の買い替えを促す補助金効果で「IoT(モノのインターネット)生活消費品」の家電が好調。さらに、電気自動車(EV)が大半を占める「スマート EV、AI&新イニシアティブ事業」が 3.3 倍へ増収となったほか、量産効果に加え、成熟した供給網のフル活用もあり、粗利益率も 10 ポイント以上改善。同社は EV 事業について 2025 年下半年に、単月または四半期ベースで黒字化する可能性があるとしているが、今後は生産能力の不足が課題だろう。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全96銘柄)における終値の昨年末来騰落率

基準日: 20250902

順位	2024年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位
1	中国生物製薬 [シノ・バイオフィーマシューティカル]	169.0 2
2	周大福珠寶集團[チャウタイフックジュエリーグループ]	131.2 5
3	石薬集團 (CPSC Pharmaceutical Group)	127.8 4
4	華虹半導体[ファホン・セミコンダクター]	127.3 6
5	中国宏橋集團[チャイナ・ホンチャオ・グループ]	126.5 7
6	JD Health International Inc (京東健康)	124.4 1
7	Hansoh Pharmaceutical Group Co Ltd	111.4 3
8	無錫業明康德新薬開発[ウーシー・アプテック]	110.5 10
9	業明生物技術[ウーシー・バイオリジクス・ケイマン]	103.5 14
10	紫金鉱業集團[スージン・マイニング・グループ]	95.0 15

順位	2024年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位
96	Meituan (美团)	-33.4 95
95	ニュー・オリエンタル・エデュケーション・アンド・テクノロジー	-22.5 96
94	中国蒙牛乳業[チャイナ・モンニユウ・デイリー]	-12.1 86
93	Haidilao International Holdi (海底撈)	-11.5 92
92	JDドットコム	-9.8 91
91	国業控股[シノファーム・グループ]	-5.5 87
90	ASMPPT	-3.6 94
89	長江基建集團 [チョンコン・インフラストラクチャーHDS]	-2.4 89
88	創科実業[テクトロニック・インダストリーズ]	-2.4 82
87	理想汽車	-2.3 81

【2025年8・9月:中国主要経済指標】

- 8月22日(金)
 - ・7月対外直接投資<前年同月比>: 前回▲15.2%、結果▲13.4%
- 8月27日(水)
 - ・1-7月工業利益<前年同月比>: 前回▲1.8%、結果▲1.7%
- 8月31日(日)
 - ・8月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.3、結果49.4
 - ・8月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.1、結果50.3
- 9月1日(月)
 - ・8月(RatingDog) 製造業PMI: 前回49.5、結果50.5
- 9月3日(水)
 - ・8月(RatingDod) サービス部門PMI: 前回52.6、結果53.0
- 9月7日(日)
 - ・8月外貨準備高: 前回3.292兆USD
- 9月8日(月)
 - ・8月貿易収支: 前回+982億USD
 - ・8月輸出<前年同期比>: 前回+7.2%
 - ・8月輸入<前年同期比>: 前回+4.1%
- 9月10日(水)
 - ・8月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+0.1%、結果±0%
 - ・8月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲3.6%、結果▲3.6%
- 9月9日(火)~15日(月)
 - ・8月資金調達総額: 前回23.99兆元
 - ・8月新規人民元建て融資: 前回12.87兆元
 - ・8月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+8.8%
- 9月15日(月)
 - ・8月小売売上高<前年同月比>: 前回+3.7%
 - ・8月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+5.7%
 - ・1-8月不動産投資<前年同期比>: 前回▲12.0%
 - ・1-8月固定資産投資<前年同期比>: 前回+1.6%
 - ・8月住宅販売面積<前年同月比>: 前回▲6.2%
 - ・8月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.31%
 - ・8月調査失業率<前年同月比>: 前回5.2%
- 9月22日(月)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.00%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.50%

出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、当レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。